

「今、私の晴雨計は！④」

「私の駄洒落とサラ川考」

平山征夫

昨年末に歯と腰を痛めたことは書いた。幸い心配した腰の方は

その後再発もせずにいるが、歯の方は歯周病の影響か昨年暮れに痛んだ奥歯は揺らぎが増していて「噛み合わせに影響しない歯なのでもう抜いたほうが良いでしょう」ということになり、大学病院で先日抜いた。麻酔の注射をする段になって、K先生「注射する立場ですが、実は私自身注射嫌い人間で、幾つになっても注射は駄目なんです」と言う。そこで「いくつになっても嫌いなものもあ

れば、いくつになっても好きなもの

もあります。それが人間ですよ」とわかったような相槌を私が打つと、「いくつになっても好きなものって何ですか？」と聞かれてつい「若い女性！」と正直に答えて笑われた。

「歯を抜く前にこんな会話をしたことはあまりないなあ」とK先生、そこでつい悪乗りして「歯を抜くのを抜歯と言いますね。そうすると歯を抜く作業は英語でバツシングと言うんでしょうか」と私が言うと一瞬きょとんとされた後、「なるほど！」といたく感心された。以前、俳句を読む人たちが歩きながら俳句を作る吟行のことを「英語ではハイキングという」という駄洒落を言ったこと

があるが同類のものだ。

私は駄洒落人間である。駄洒落が好きという意味ではない。頭の中の回路がそうなっているのか、駄洒落を考えようと別に思わないのにふっと浮かんでくる。浮かぶと黙っていられなく口にしてしまうという意味だ。知事時代議会答弁中に駄洒落が浮かんで思わず口にして、後で答弁記録の修正を三度している。私の大学の政治学のO先生は「駄洒落は権力者による笑いの押しつけである」と言って私を諷める。そう言われても「そうかなあ？そんな大げさな意味はないと思うけれど・・・」

と思いつつ、学長は確かに権力者なので大学では極力控えている。　

「駄洒落のうまい人は頭が良い

証拠」とよく言われるが、私自身にはその自覚は全くない。「一休さんのような頓智はないよ」と内心思っている。ただ単に頭の中に浮かんでくるだけなのだ。多分頭の中に駄洒落回路があり、それが普通より少し発達しているだけ

なのだと思う。多分その分他の回路が未発達なのだろうが・・・。時折、この回路が私以上に発達している人に出会うが、観察していると実にそのことがよくわかる。例えば作曲家の池辺晋一郎さんだ。とにかく話が途切れず駄洒落が永遠と続く。合間を見つけてこちらも応戦するが、質にこだわらない（？）池辺さんの数に対抗するのは至難だ。考えている風は全

くない。話す言葉の一部が駄洒落なのだ。

駄洒落が出やすいのは歩いて
いる時が一番だ。頭が良く回転し
ているからだろう。私の名（迷）
作の多くはウオーキング中のも
のだ。歩きながら聞いていたラジ
オがI O Cのサマランチ会長の
スキヤンダルを報じていたが、突
如浮かんだのが「サマランチ会長
の子供の名前は？」という駄洒落
だ。答えは「お子様ランチ」。
でも、こうやって覚えているもの
は少ない。よほど受けたものや自
己満足したもの以外は瞬間浮か
んで口に出した途端忘れてしま
う。同じ洒落を何度も繰り返し話
す人もいるが、聞かされる方にす
れば二度目以降は、確かに押し売

りだ。

駄洒落を聞かされる人の反応
には三種類ぐらいある。一般的
なのが駄洒落の質に関わらず一応
に笑うタイプ。しかし、笑いの内
容としては笑いが好きで喜んで
聞いている人から、付き合い上仕
方なくて笑っている人までかな
り差がある。次は良し悪しを評価
してそれに応じて笑いも区別す
るタイプだが、これは少ない。大
抵評価するなどという面倒な作
業はしないからだ。最後が全く無
反応のタイプだ。結構このタイプ
も多い。我が家の家族は全員この
タイプだ。このタイプでは全く無
視するように無反応な人が殆ど
だが、時折明らかに迷惑そうな又
は困ったような表情をする人や、

ごく稀に明らかに不愉快そうな
顔をする人がいる。その場合は黙
って消え去るしかない。多少はコ
ミュニケーションに潤滑油的効
果を及ぼしているだろうと自己
満足ないし自己擁護している私
にとしては、「迷惑よ！」という
表現は「逆効果よ」と言われてい
るわけだからだ。

そんな駄洒落人間の私を有望
と思ったのか、第一生命に就職し
た卒業生が「サラリーマン川柳
（サラ川）」への参加をしきりに
勧めてくる。お見通しの通りサラ
川は昔から大好きだ。日銀マンも
れっきとしたサラリーマンだか
ら、そこに表現されたサラリーマ
ンの悲哀や鬱積は若い頃普通に
経験している。「せまじきものは

宮仕え」とか「弱き者、汝の名は
サラリーマン」などと同僚と神田
の飲み屋で愚痴をこぼし合った
こともある。そんな私が気に入っ
ている作品を少し紹介しよう。

サラ川にはいくつかのジャン
ルがあるが、まずは上司を対象と
したものだが、意外と少ない。

・ドットコム どこが混むのと
聞く上司

・「課長いる？」 返った答えは
「いりません」

・コストダウン 叫ぶあんたが
コスト高

次に黙々と長年働きながら評
価されず、家庭の中で抱いている
孤立感を詠んだもの

・父帰る 娘出かける 妻眠る。
・キミだけは オレのものだよ

マイナンバー

・「ゴハンよ」と呼ばれて行けば

タマだった

・定年後 寄ってくるのは

ルンバだけ

・わが家では 子供ポケモン

パパノケモン

圧倒的に作品数が多く、かつ秀

作も多いのが夫婦関係を詠んだ

ものだ。身近で最大の存在者であ

り、年齢と共に大きく変化してゆ

く様は職場の上司以上に影響力

があるということだろう。

・まだ寝てる 帰ってみれば

もう寝てる

・プロポーズ あの日にかえっ

て 断りたい

・いい夫婦 今じゃどうでも

いい夫婦

・気を遣い 妻を目で追う

オレとイヌ

・赤い糸 今は何処へ 行った

やら

・妻の声 昔ときめき 今動悸

・昼食は 妻がセレブで 俺セ

ルフ

・「パパお風呂」 入れじゃなく

て 掃除しろ

・守ろうと 誓った嫁から 身

を守る

など、きりが無い。そんななか

ら私が選んだ最高傑作は「耐え

てきた」という妻に「耐えてき

た」というものだ。定年を迎える

頃の夫婦の深層心理が、極めて的

確に表現されている。よく夫婦に

ついて「20歳台は愛情、30歳台は

理解、40歳台は衝突、50歳台は我

慢、60歳台は諦め、70歳台は無視」

などと言われている。だから、妻

側からも「粗大ごみ 毎朝出し

ても帰ってくる」とか「亭主元

気で 留守が良い」「オレオレ

に亭主と知りつつ 電話切る」

などと言われてしまう。そこで四

月から年金生活者となり、夫婦向

かい合わなくてはならない私と

して「粗大ごみにならない対策」

を考えなくてはと思った。そこで

得た結論は「本来は60歳台で夫

婦理解の再構築をし、70歳台で

労わり合いとしなければならな

かったところを横道に大きくそ

れてしまったわけだが、80歳台

で夫婦に別れが訪れることを想

定すればその時には、「長い間、

一緒にいてくれて有難う」と感謝

で終わりたい、ならば「諦め」や

「無視」の関係状態にあっても、

80歳台まで生きて「感謝」で終

わろうと言う気持ちは今から持

つことが重要なのではないかと

言うことだった。

サラ川は所詮「サラ川で 妻

の仇打つ ダンナたち」なのだ。

だから「耐えてきた」という妻

に「耐えてきた」で良いが、「感

謝」で夫婦関係を終わるためには

「耐えてきた 私に妻も 耐え

てきた」という理解が必要なの

だろう。そんなことを考えていた

ら、きっかけだったサラ川参加に

ついても結論が出た。「サラ川は

私には向いていない。少なくとも

夫婦ネタは無理だな」と・・・。

(平成30年2月16日)